

No	内容	対応	該当ページ
1	気候変動の影響評価が「●、▲、■」となっているが、小さくて見づらいため、白抜きで記号を大きくしてほしい。	記号を拡大し、白抜きに修正しました。	20、21
2	進捗評価の基準を掲載してほしい。	巻末の参考資料に市民・事業者の意識・意向調査の結果概要及び現行計画の進捗評価の詳細を掲載します。	22
3	5つのまちの将来イメージについて、「みんなで取り組む環境づくりのまち」は他の4つのまちにも関わってくるイメージではないか。	「みんなで取り組む環境づくりのまち」が基盤となるように将来イメージを修正しました。	27
4	「③プラスチックごみの削減」にマイクロプラスチックや人体等にも影響を与えている旨を記載してはどうか。	マイクロプラスチック及び人体への影響に関する内容を追記しました。	48
5	「自然共生社会の実現に関する課題」について、②と③には「こういうところが問題です」といった課題が書かれていない。	生物の生息地や移動経路等として重要な役割を果たしていることを強調・追記しました。このことから、保全が必要であるという問題提起につながるものと考えます。	56
6	課題②の4行目は、緑の基本計画から文章が引用されている。インパクトの強い、新しい文章を書いてほしい。	みどりの保全の大切さを訴える点では、同じ目的・趣旨であるため、オール小牧市として、先行する緑の基本計画からの引用が適切であると考えますが、引用部分を再考し、生物の生息地や移動経路として重要であることを強調した文面に修正しました。	56
7	環境系統別の保全方針にそれぞれが相関している旨を追記してほしい。	5行目「分けられます。」の後に追記しました。	59
8	系統別の図の凡例に橙色や水色が何を示しているのかを追記してほしい。	追記しました。	60 他
9	水辺の生態系に湿地に関する記載がない。指標生物種としているトウカイコモウセンゴケは湿地の生物のため、64ページにも湿地に関する内容を追記してほしい。	64ページ「市内の河川と水路、ため池」の後に「湿地」を追記しました。また、65ページの「守る・育てる」にも「湿地」を追記しました。 トウカイコモウセンゴケについては、トピックス（70ページ）の主な指標生物種の紹介文の中で、小牧市でも東部の湿地で確認されている旨を追記しました。	64
10	「小牧市固有」や「本市固有」という表現に違和感を感じた。	敢えて記載する必要性はないため、削除しました。	71

No	内容	対応	該当ページ
11	生物調査の実施回数について、回数のとらえ方が曖昧である。また、回数が少なかったら意味がないのかとも感じてしまうため、指標としてどうか。	調査を行った「日数」や「人員数」、「結果報告数」等も検討しましたが、機運等による影響も大きいため、市の施策を直接反映するため「回数」としました。	72
12	「7-3公園の整備…」に生物と触れ合える場といった記載がない。市街地でも自然環境に触れられるということを追記してほしい。	生物と触れ合うことのできる場としての良好な環境の保全に努める旨を追記しました。	73
13	熱中症搬送者数の目標値は達成可能な数字か。	熱中症搬送者数は気候に大きく左右され、市の取組だけでは達成が困難な場合もあることから、新たな指標をおくこととしました。	78